

平成27年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

喀痰吸引等研修プロジェクト 活動報告（案）

1 設置の目的、役割等

喀痰吸引等研修プロジェクト（以下、プロジェクトという）は平成24年4月の「介護職員等による喀痰吸引等の実施のための制度」（以下、「喀痰吸引等制度」という）の制度化を受け、乙訓圏域における「介護職員等による喀痰吸引等研修<第3号研修>」（以下、「第3号研修」という）を実施することを目的とし、平成24年度より乙訓圏域障がい者自立支援協議会「医療的ケア」委員会のプロジェクトとして設置されました。喀痰吸引等を必要とされる人の地域生活を支えるため、その担い手となる人材を確保・育成していくことを役割としています。

2 昨年度までの経過

「喀痰吸引等制度」が制度化された平成24年度より、乙訓圏域でも「第3号研修」が実施出来るよう「医療的ケア」委員会において登録研修機関の確保に向けた協議を行いました。具体的には、乙訓圏域で重度訪問介護従業者養成研修の登録機関であった乙訓福祉会へ「第3号研修」実施の要請を行い、乙訓圏域障がい者自立支援協議会として登録研修機関をバックアップするためのプロジェクトを設置し、乙訓福祉会と連携・調整しながら、研修実施に向けて準備を進めました。

平成24年9月に乙訓福祉会が、京都府の指定登録研修機関となり、「第3号研修」を以下のとおり実施しました。

| | | | |
|-----------|---------------|------|-----|
| ・平成24年10月 | 6・7日（土・日） | 受講者数 | 27名 |
| ・平成25年 | 2月23・24日（土・日） | 受講者数 | 49名 |
| ・平成25年 | 9月7・8日（土・日） | 受講者数 | 31名 |
| ・平成26年 | 3月1・2日（土・日） | 受講者数 | 14名 |
| ・平成26年10月 | 18・19日（土・日） | 受講者数 | 23名 |

*合計 144名（内、乙訓圏域事業所所属者 74名）

研修受講者数が減少傾向にあることを踏まえ、乙訓圏域の事業所における研修受講状況及び喀痰吸引等の実施状況について改めて把握し、状況に応じて研修情報の周知のあり方等を検討する必要があるとあり、平成25年度に行った「障がい福祉サービス等事業所における喀痰吸引等の実施の現状・課題・研修

ニーズに関する調査」(以下、アンケートという)を基本に、新たな項目等を加えるなどの検討を行い再調査することとしました。

3 今年度の会議の開催状況

第1回 4月23日(木) 15:30~16:30

乙訓保健所 講堂

- (議題) 1) 平成26年度活動報告(案)について
2) 平成27年度アンケート実施に向けての検討準備について

第2回 6月25日(木) 15:30~16:30

乙訓総合庁舎 第二会議室

- (議題) 1) 各委員の自己紹介
2) アンケートについて
3) 平成27年度「第3号研修」について

第3回 8月27日(木) 15:30~16:30

乙訓保健所 講堂

- (議題) 1) アンケートの結果報告について
2) 平成27年度「第3号研修」について

第4回 12月17日(木) 15:30~16:30

乙訓保健所 講堂

- (議題) 1) アンケートの結果報告について
2) 「第3号研修」の実施報告及び振り返り
3) 平成28年度に向けて

第5回 2月25日(木) 15:30~16:30

乙訓保健所 講堂

- (議題) 1) 平成27年度のまとめ及び平成28年度に向けて

4 今年度の実施内容

(1) 平成27年度「第3号研修」の実施

ア. 研修実施日程

平成27年10月17日(土) 9:30~16:30

(講義)

10月18日(日) 9:00~16:00

(講義) (筆記試験) (シミュレータ演習)

イ. 研修実施場所

社福) 乙訓福祉会 乙訓の里

ウ. 研修受講者数

21名 (乙訓圏域: 13名 その他: 8名)

* 20名は筆記試験 (基本研修) に合格され、実地研修に進まれました。

1名は筆記試験 (基本研修) に不合格となり、後日再試験を行った結果も不合格であったため、筆記試験規程により今回の基本研修の終了は認定出来ない旨を所属事業所に伝えました。

(2) まとめ

「重度障がい児・者等の地域生活等」に関する講義は、介護職員としての豊富な経験を持たれている方より独自の資料を基に、医療的ケアを福祉職が実践する上において身につけておかなければならない専門性について、及び法制度の現状を解説していただきました。

「喀痰吸引」に関する講義は、基本研修のシミュレータ演習の講師を毎回担当していただいている看護師の方より、吸引器等喀痰吸引に使用する器具を使って解説していただきました。「健康状態の把握・経管栄養」に関する講義は、訪問看護師をされている方より、看護現場で起こっている実際の事例などを紹介しながら解説していただきました。お二人とも介護現場を熟知されている看護師であり、シミュレータ演習の予備知識としての手技、介護職と看護師や医師等医療職との連携、医療的ケアのポイントを講義していただきました。

「シミュレータ演習」については、受講者21名を4グループに分けて4名の看護師の方々に演習講師を担っていただきました。喀痰吸引 (口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内) と経管栄養 (胃ろう・腸ろう・経鼻) をそれぞれのグループのすべての人が1回は演習出来るように配慮いただき、丁寧に指導していただきました。

5 次年度の課題と方針

次年度 (平成28年度) も、10月に1回の研修実施を予定しています。

今年度に「医療的ケア」委員会が実施されたアンケートの調査内容の集計結果、及び今年度を含む過去4年間に実施した計6回の研修実績の分析結果 (対象利用者別、行為別、実地研修修了者等) を基に、乙訓圏域で継続的に「第3号研修」が実施出来るよう、研修受講者の確保が必要であります。

また、喀痰吸引等を必要とされる人の地域生活を支えるため、その担い手となる人材を育成していくためにも、「医療的ケア」委員会と連携を図り、「第3号研修」を受講して資格を得た方々への、フォローアップ研修の実施を検討する必要があります。

以上のことを、次年度の課題として申し送ります。

<添付資料>

- ・「介護職員等による喀痰吸引等研修（第3号研修）実施要綱」（資料1）